

県生協連 2023 年度の基本方針について

2022年度第7回理事会を5月17日(水)に開催し、以下の方針を決定しました。
第62回通常総会は6月22日(木)に開催いたします。

～組合員活動の参加者を増やす取り組みとして
開催方法の工夫や会員生協との交流を推進します～

1. 学習会・生協大会等の企画立案や開催方法に組合員活動協議会が参画します
2. 平和活動は戦争の実相を知り、平和の大切さを継承します
3. ユニセフハンド・イン・ハンド募金などの活動を再開します
4. 自然災害に備え防災・減災を学び、被災地・被災者への支援を継続します
5. SDGsの活動を推進し、持続可能な社会を目指します
6. 県生協連ニュースを継続発行し、情報発信ツールとして活用します
7. 消費者の立場から、くらしの安全保障・食料問題・環境・福祉・健康・エネルギー問題・消費者被害問題・防災など、今日的テーマの学習に取り組みます

2023年度も会員生協の連携を一層強め、諸問題へ取り組んでまいります

◆◆2022 年度全期監査を実施しました◆◆

5月9日(火) コープあきた本部において、山崎恵津子監事、長山広貴監事、船木祐子監事の3名に2022年度の事業状況と決算帳票を監査いただきました。

創立60周年を迎えた2022年度は、コロナ禍でも開催方法を工夫し、多くの組合員の参加で学習会や生協大会を今日的テーマで開催しました。また創立60周年記念講演会、令和4年度北海道・東北地区行政・生協連絡会議の秋田県開催など、県生協連にとって特別な年度でもありました。

今後もより一層組合員が参加しやすい活動を作り上げていくことを確認しました。



上:会場の様子 下:監査の様子

秋田大学地域防災減災総合研究センター企画展 秋田の防災・減災パネル展が開催されました



パネル展の様子

1983年5月26日に発生した日本海中部地震から40年目となり、5月24日(水)～30日(火)の期間、秋田大学では県内で発生した地震被害のパネル展を開催しました。

主催した秋田大学地域防災減災総合研究センター 副センター長の水田敏彦教授には、2020年に開催した第36回秋田県生協大会の「秋田での災害に備える～地域の災害の歴史を知り防災力アップ～」の講演で、「知って備える」ことの大切さを学びました。

会場には多くの学生や地域住民が訪れ、明治以降に秋田県で起きた地震の新聞記事や写真パネルを熱心に見学していました。